

家庭教育 なう vol.12



2021年11月発行
恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 嶋倉
〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 〈内線209〉
FAX 0573-25-7129
Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp

家庭教育委員の研修会 多治見市PTA連合会

多治見市PTA連合会は、10月27日家庭教育委員の研修会を行いました。当初は、オンラインでの開催も準備されていたようですが、新型コロナウイルス感染症第5波も収束してきたことを受けて、集合しての開催となりました。

この研修会は、講師に服部剛典先生を招き、「子育てが楽になる！心や脳の働きからみる子どもの自己肯定感を育む働きかけ」と題した講話を中心に行われました。(写真左)



サロン形式で交意見流する委員と講師(中央右)



講師 服部剛典 先生

はっとりたけのり
トモに創る未来代表
ひらけエデュケーション代表理事
日本イェナプラン教育協会事務局
愛知教育大学非常勤講師
公認心理師 元高校教師

研修会は、講話を聞くだけでなく、4〜6人ほどのサロン形式で互いに見交流する活動が仕組まれていて、どの参加者もとても主体的に研修に参加できていました。その中で、自分で自分の良さを確かめる演習がありました。一つ一ついできないことを意識しがちなのは人として当然のことですが、多くの参加者は、自分の特徴を良さとしてとらえることに苦戦しながらも楽しく学んでいました。

講話の中で服部先生が「寝がえりを初めてできた赤ちゃん」「やったあ、できた！」と思うことはあっても「どうせ私なんてほかの赤ちゃんより下手やし、遅いし！」なんて思っていない。成長するに従って他と比較できるようになると、自分の良いところが見えにくくなっていく。」と話されたことには大変納得できました。

講話の最後には、自分から自分に宛てて、自分の良いところを自分自身に認める「認定書」を作り、自分自身に渡しました。

参加者の声



自分自身の「認定書」を読む参加者



専門職も認定書を作りました！

この講話のテーマが「子どもの自己肯定感を高める」ということでしたが、内容は親自身が自分の良さを見つけ、認めることを体感する親自身の学びの場でした。子どもの自己肯定感を高めるためには、ほかの誰でもない親の自己肯定感を高めることが重要だということがよくわかる、充実した研修会になりました。

▽人を育むというのは、自分の子どもを育むということばかりではないと思えました。まず自分自身を育みそして家族や周りの人を育む。育むというのは育む人、育まれる人という関係ではなく、お互いが育む人なんだと思えました。

▽今まで自分の価値観や思い込みで子どもたちにいろいろ言ってきたのでワークショップ置いて、「くかもしれない」を考えてみました。



食育習慣！好き嫌いをなくそう☆ 我が家の好き嫌い克服メニュー！

池田小
(多治見市)

池田小ホームページはこちら
<http://school.city.tajimi.lg.jp/ikedai/>



在宅型家庭教育学級の紹介

多治見市P連の研修会後半には、在宅型家庭教育学級の紹介がありました。発表してくださったのは、池田小学校PTA家庭教育委員長の福田さんです。詳しく聞いてみました。

どんな取組ですか？

食育習慣について、①家族で苦手素材を使ったメニューを考え、②実際に作って食べ、③レシピを紹介するというものです。

池田小ホームページはこちら

池田小学校PTA会員様
家庭教育委員長

令和3年度5月吉日

在宅型家庭教育学級取り組みのお願い

保護者の皆様には日頃からPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今回は在宅で行える家庭教育学級を企画致しました。お忙しいとは思いますが、お子様と一緒に取り組んでいただけたらと思います。つきましては、下記のような要領で実施していただき、用紙の裏面に記入の上、学校へ提出していただきますようお願いいたします。

記

食育週間！好き嫌いをなくそう☆我が家の好き嫌い克服メニュー！

1 実施期間 令和5月〇日()～5月〇日()

2 取り組み方 ① 家族で話しあって、苦手な素材を使ったメニューを考える。
② 実際に作って食べてみる。
③ メニューの紹介 裏面の記入欄に記入

提出していただいたメニューは校内に掲示し、栄養士の先生が最も参考になったメニューを次号家庭教育学級発行にて掲載させていただきます。

〇月〇日までに担任の先生に提出してください。

きっかけは？

毎年、家庭教育委員が教室で読み聞かせをするのが伝統になっていました。今年も読み聞かせを断念し、在宅でもできる取組を考えました。また、毎年多くの保護者が参加してくれる給食試食会もできなくなり、栄養教諭と相談して内容を工夫

手ごたえは？

しました。

たくさんさんの家庭が協力してくれました。工夫されたレシピも多く、児童の委員会の協力も得て廊下に掲示しました。それだけでももったいないので、レシピ集にまとめ印刷して全家庭に配りました。

池田小では、見送っていた読み聞かせを児童のタブレットPCを活用して保護者が動画を作成し、学級でそれを放映する形で再開しました。

「どうしたらできるか工夫を凝らしてやってみる：」学校とPTAがうまく連携している素敵な小学校ですね。

保護者向け依頼文(上)とそれに添付された紹介カード(下)

令和3年度 池田小学校 在宅型家庭教育学級

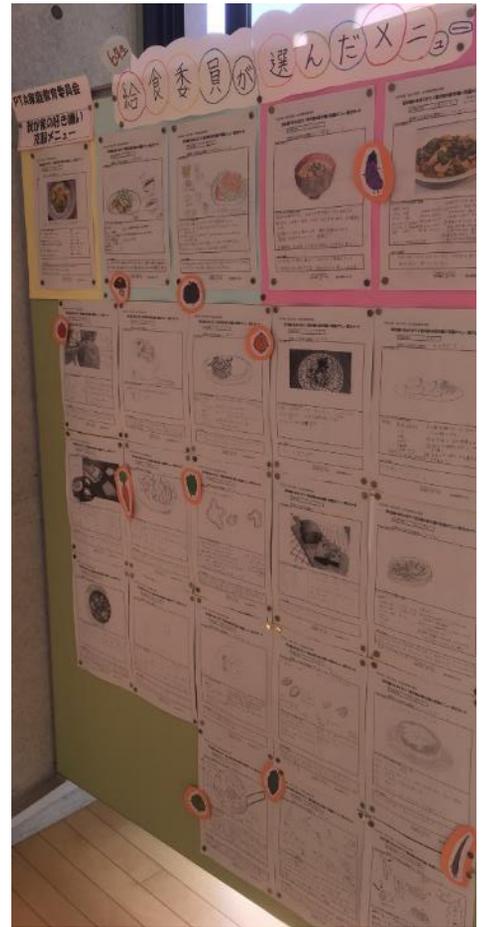
好き嫌いをなくそう☆我が家の好き嫌い克服メニュー紹介カード

紙、写真など

(食べた感想)

提出期限〇月〇日

○を付けてください
校内掲示 可・不可



「給食委員が選んだメニュー」おいしそうなレシピがたくさん(池田小廊下掲示)

在宅取組のマナー『3つのない』～「強制しない」「比べない」「探らない」

在宅取組を行った際、作品や実践カードを提出いただき、お便りや展示などで他の保護者さんのものを参考にさせていただくことがあります。しかし、作品やカードによって、家庭の様子を知られるのが嫌だという方もいらっしゃいます。

そのためのマナーとして、提出を強制したり、掲載について承諾を得なかったり、実践内容を比べたり、家庭の様子を探ったりするのはNoGood。家庭教育に正解はありません。無理のない範囲で良さを広げ、それぞれの家庭に合わせた実践につながるようにしたいですね。